



2024年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年5月9日

上場取引所 東

上場会社名 花王株式会社
コード番号 4452 URL www.kao.com/jp/
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 長谷部 佳宏
問合せ先責任者 (役職名) 会計財務部門 管理部長 (氏名) 峯岸 佳雅 TEL 03-3660-7111
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	365,797	5.2	21,984	201.7	24,764	193.4	17,326	222.6	16,470	241.9	50,089	235.8
2023年12月期第1四半期	347,794	0.3	7,287	△68.3	8,439	△67.1	5,371	△71.4	4,817	△73.6	14,917	△69.0

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2024年12月期第1四半期	35	43	—	—
2023年12月期第1四半期	10	36	10	36

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率		1株当たり親会社 所有者帰属持分	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%	円	銭	
2024年12月期第1四半期	1,771,658	1,026,838	997,020	56.3	2,144.75					
2023年12月期	1,769,746	1,012,043	983,658	55.6	2,116.01					

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	75.00	—	75.00	150.00
2024年12月期（予想）	—	76.00	—	76.00	152.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	1,580,000	3.1	130,000	116.5	131,000	105.2	98,000	123.4	210.81	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、 除外 一社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期1Q	465,900,000株	2023年12月期	465,900,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期1Q	1,035,337株	2023年12月期	1,034,724株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期1Q	464,865,165株	2023年12月期1Q	464,835,617株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】5ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する概要	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書	8
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	9
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(7) 継続企業の前提に関する注記	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する概要

注：以下、()付きの数字はマイナス表示であり、「実質」とは為替変動の影響を除く増減率を表示しています。
また、数量等には製品構成差を含んでいます。

	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	営業利益率 (%)	税引前 四半期 利益 (億円)	四半期 利益 (億円)	親会社の 所有者に 帰属する 四半期利益 (億円)	基本的 1株当たり 四半期利益 (円)
2024年12月期 第1四半期	3,658	220	6.0	248	173	165	35.43
2023年12月期 第1四半期	3,478	73	2.1	84	54	48	10.36
増減率	5.2% 実質 0.4%	201.7%	—	193.4%	222.6%	241.9%	241.9%

世界経済は着実に回復傾向にあるものの、その足取りは国や地域によって異なる様相を呈しています。日本経済は緩やかな回復基調にあります。一方で、中国経済の減速、欧州や中東での地政学リスク、さらには原材料価格上昇等により、先行きは不透明な状況にあります。

当社グループの主要市場である日本のコンシューマープロダクツ（トイレタリー及び化粧品）市場は、小売店の販売実績や消費者購入調査データによると、2024年1月から3月において前年同期を上回りました。

当社グループは、2023年8月3日に発表した花王グループ中期経営計画「K27」をスタートさせ、顧客の重大なニーズに、エッジの効いたソリューションで世界No.1の貢献をする「グローバル・シャープトップ戦略」を推進しています。

売上高は、前年同期に対して5.2%増の3,658億円（為替4.8%増、実質0.4%増（内訳：数量等0.2%増、価格0.2%増））となりました。営業利益は220億円（対前年同期147億円増）となり、税引前四半期利益は248億円（対前年同期163億円増）となりました。四半期利益は173億円（対前年同期120億円増）となりました。

当第1四半期の海外連結子会社等の財務諸表項目（収益及び費用）の主な為替の換算レートは、次のとおりです。

	第1四半期 1-3月
米ドル	148.22円 [132.29円]
ユーロ	160.99円 [141.98円]
中国元	20.63円 [19.33円]

注：[]内は前年同期の換算レート

【セグメント別の概況】

セグメントの業績

	売上高				営業利益				増減 (億円)
	第1四半期		増減率		第1四半期		増減 (億円)		
	2023年 12月期 (億円)	2024年 12月期 (億円)	(%)	実質 (%)	2023年12月期 (億円)	2024年12月期 (億円)			
ファブリック&ホームケア製品	709	784	10.5	9.2	56	7.9	126	16.1	70
サニタリー製品	428	410	(4.2)	(8.3)	(29)	(6.9)	6	1.3	35
ハイジーン&リビングケア事業	1,137	1,194	4.9	2.6	27	2.4	131	11.0	105
ヘルス&ビューティケア事業	869	948	9.1	2.9	58	6.7	66	7.0	8
ライフケア事業	128	124	(3.1)	(6.1)	(6)	(4.8)	(3)	(2.7)	3
化粧品事業	518	546	5.4	2.0	(45)	(8.8)	(47)	(8.5)	(1)
コンシューマープロダクツ事業	2,653	2,812	6.0	2.2	34	1.3	148	5.3	114
ケミカル事業	932	945	1.4	(5.8)	41	4.4	81	8.6	40
小計	3,585	3,757	4.8	0.1	75	—	229	—	154
セグメント間消去又は調整	(107)	(99)	—	—	(2)	—	(9)	—	(7)
合計	3,478	3,658	5.2	0.4	73	2.1	220	6.0	147

販売実績

第1四半期		(億円、増減率%)				
		日本	アジア	米州	欧州	合計
ファブリック&ホームケア製品	2023年	586	113	10	—	709
	2024年	665	109	9	—	784
	増減率	13.5	(3.7)	(8.3)	—	10.5
実質		13.5	(11.1)	(15.0)	—	9.2
	2023年	182	246	0	—	428
	2024年	178	232	—	—	410
サニタリー製品	増減率	(2.1)	(5.8)	—	—	(4.2)
	実質	(2.1)	(12.8)	—	—	(8.3)
	2023年	768	359	10	—	1,137
ハイジーン&リビングケア事業	2024年	844	341	9	—	1,194
	増減率	9.8	(5.2)	(8.8)	—	4.9
	実質	9.8	(12.3)	(15.5)	—	2.6
ヘルス&ビューティケア事業	2023年	426	86	238	119	869
	2024年	441	92	267	148	948
	増減率	3.4	7.6	12.1	24.5	9.1
実質		3.4	(0.8)	0.2	9.0	2.9
	2023年	96	0	32	0	128
	2024年	89	0	35	0	124
ライフケア事業	増減率	(7.7)	50.9	10.2	36.9	(3.1)
	実質	(7.7)	40.2	(1.7)	17.1	(6.1)
	2023年	341	111	16	50	518
化粧品事業	2024年	359	108	19	62	546
	増減率	5.2	(3.4)	13.5	23.5	5.4
	実質	5.2	(10.1)	1.3	7.4	2.0
コンシューマープロダクツ事業	2023年	1,631	556	296	169	2,653
	2024年	1,731	541	330	210	2,812
	増減率	6.2	(2.8)	11.3	24.2	6.0
実質		6.2	(10.1)	(0.4)	8.5	2.2
	2023年	328	225	161	219	932
	2024年	318	234	162	231	945
ケミカル事業	増減率	(3.2)	4.2	1.0	5.6	1.4
	実質	(3.2)	(3.9)	(12.0)	(6.9)	(5.8)
	2023年	(92)	(9)	(0)	(6)	(107)
セグメント間売上高の消去	2024年	(85)	(9)	(0)	(6)	(99)
	2023年	1,867	772	457	382	3,478
売上高	2024年	1,965	766	492	435	3,658
	増減率	5.2	(0.8)	7.7	14.0	5.2
	実質	5.2	(8.3)	(4.5)	0.1	0.4

注：コンシューマープロダクツ事業は、外部顧客への売上高を記載しており、ケミカル事業では、コンシューマープロダクツ事業に対する売上高を含めています。地域別の売上高は、販売元の所在地に基づき分類しています。

売上高 対前年同期比分析

	増減率 (%)	為替 (%)	実質 (%)		
				数量等 (%)	価格 (%)
ファブリック&ホームケア製品	10.5	1.3	9.2	3.9	5.3
サニタリー製品	(4.2)	4.0	(8.3)	(13.2)	4.9
ハイジーン&リビングケア事業	4.9	2.3	2.6	(2.5)	5.1
ヘルス&ビューティケア事業	9.1	6.2	2.9	3.2	(0.3)
ライフケア事業	(3.1)	3.0	(6.1)	(9.3)	3.2
化粧品事業	5.4	3.4	2.0	0.1	1.9
コンシューマープロダクツ事業	6.0	3.8	2.2	(0.5)	2.6
ケミカル事業	1.4	7.1	(5.8)	0.9	(6.7)
合計	5.2	4.8	0.4	0.2	0.2

注：ケミカル事業の売上高は、セグメント間取引を含んでいます。

売上高に占める海外に所在する顧客への売上高の割合は、前年同期の48.2%から47.4%となりました。

コンシューマープロダクツ事業

売上高は、前年同期に対して6.0%増の2,812億円（為替3.8%増、実質2.2%増（内訳：数量等0.5%減、価格2.6%増））となりました。

世界では、インフレ基調が続く中、個人消費は回復傾向にあります。日本市場では消費の持ち直しやインバウンド需要に回復の動きが見られた一方で、中国市場では、景況感の悪化やALPS処理水の影響を受けました。このような中、高付加価値製品の提案による価格改定やブランドロイヤリティ強化の取り組み等により収益性が向上しました。

日本の売上高は、前年同期に対して6.2%増の1,731億円となりました。

アジアでは、売上高は2.8%減の541億円（実質10.1%減）となりました。

米州の売上高は、11.3%増の330億円（実質0.4%減）となり、欧州の売上高は、24.2%増の210億円（実質8.5%増）となりました。

営業利益は、価格改定を含む構造改革効果が寄与し148億円（対前年同期114億円増）となりました。

当社は、【ハイジーン&リビングケア事業】、【ヘルス&ビューティケア事業】、【ライフケア事業】、【化粧品事業】を総称して、コンシューマープロダクツ事業としています。

【ハイジーン&リビングケア事業】

売上高は、前年同期に対し4.9%増の1,194億円（為替2.3%増、実質2.6%増（内訳：数量等2.5%減、価格5.1%増））となりました。

ファブリック&ホームケア製品の売上高は、前年同期に対して10.5%増の784億円（為替1.3%増、実質9.2%増（内訳：数量等3.9%増、価格5.3%増））となりました。

ファブリックケア製品では、日本の衣料用洗剤で高付加価値化による価格改定の効果が継続したこと等により、売り上げは市場伸長を上回り、シェアも拡大しました。柔軟仕上げ剤は「ハミング 消臭実感」の改良品が好調で、シェアも回復傾向にあります。

ホームケア製品の売り上げは、前年同期を上回りました。日本では、食器用洗剤「キュキュット」が売り上げ、シェアを伸ばしたほか、バスクリナーやトイレクリナーの高付加価値製品が好調を維持しています。

ファブリック&ホームケア製品の営業利益は、126億円（対前年同期70億円増）となりました。

サニタリー製品の売上高は、前年同期に対して4.2%減の410億円（為替4.0%増、実質8.3%減（内訳：数量等13.2%減、価格4.9%増））となりました。

生理用品「ロリエ」は、日本では共感型コミュニケーションによりブランドロイヤリティが向上したことで、売り上げは好調に推移しました。中国ではALPS処理水の影響を受けました。ベビー用紙おむつ「メリーズ」の売り上げは、前年同期を下回りました。

サニタリー製品の営業利益は、ベビー用紙おむつ事業の構造改革効果等により6億円（対前年同期35億円増）となりました。

ハイジーン&リビングケア事業の営業利益は、131億円（対前年同期105億円増）となりました。

【ヘルス&ビューティケア事業】

売上高は、前年同期に対して9.1%増の948億円（為替6.2%増、実質2.9%増（内訳：数量等3.2%増、価格0.3%減））となりました。

スキンケア製品の売り上げは、前年同期を上回りました。日本では、高付加価値製品が貢献し、売り上げ、シェアともに伸長しました。また、2023年11月に買収した「Bondi Sands」の売り上げも寄与しています。

ヘアケア製品の売り上げは、前年同期を上回りました。日本では厳しい競争環境の中、新ヘアケアブランド「melt」を発売し、新プレミアム戦略を本格的にスタートさせました。米州では、「JOHN FRIEDA」の新製品が好調に推移し、売り上げは前年同期を上回りました。欧米のヘアサロン向け製品は、前年同期を下回りました。

パーソナルヘルス製品の売り上げは、前年同期を下回りました。「めぐりズム」は好調に推移しましたが、入浴剤が市場縮小の影響を受けました。

営業利益は、66億円（対前年同期8億円増）となりました。

【ライフケア事業】

売上高は、前年同期に対して3.1%減の124億円（為替3.0%増、実質6.1%減（内訳：数量等9.3%減、価格3.2%増））となりました。

業務用衛生製品の売り上げは、前年同期を下回りました。日本では、外食産業や宿泊施設等で厨房用洗浄剤や客室消耗品の需要が引き続き高まりましたが、消毒剤は市場縮小の影響を受けました。米国の売り上げは、ほぼ横ばいでした。

営業利益は、3億円（対前年同期3億円増）の損失となりました。

【化粧品事業】

売上高は、前年同期に対して5.4%増の546億円（為替3.4%増、実質2.0%増（内訳：数量等0.1%増、価格1.9%増））となりました。

日本では市場が回復する中、「KANEBO」や「ALLIE」等のグローバル戦略ブランド「G11」が好調を維持し、売り上げは前年同期を上回りました。中国では、ALPS処理水等の影響により「キュレル」が苦戦し、売り上げは減少しました。欧州では「SENSAI」の新製品が寄与しシェアが拡大しました。さらに、「MOLTON BROWN」が好調で、売り上げは前年同期を上回りました。

営業利益は、47億円（対前年同期1億円減）の損失となりました。

ケミカル事業

売上高は、前年同期に対して1.4%増の945億円（為替7.1%増、実質5.8%減（内訳：数量等0.9%増、価格6.7%減））となりました。

油脂製品では、顧客の需要は回復基調に入りましたが、天然油脂価格の下落に伴う販売価格改定の影響があり、売り上げは減少しました。

機能材料製品は、国内の自動車関連分野等の一部対象市場の減速と海外での競争激化の影響を受けて、売り上げは減少しました。

情報材料製品では、ハードディスクや半導体関連分野の需要が回復傾向で、その着実な取込みを通じて、売り上げは伸長しました。

営業利益は、油脂製品を中心とした利幅の改善に加え、需要の回復を捉えて伸長した分野の貢献で、81億円（対前年同期40億円増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、花王グループ中期経営計画「K27」を達成するため「グローバル・シャープトップ戦略」を推進し、戦略ブランドへの集中投資やROIC(投下資本利益率)のより一層の改善を進めることで、当第1四半期連結累計期間は計画を上回る進捗を示しました。

しかしながら、中国経済の減速、欧州や中東での地政学リスク、さらには、原材料価格の上昇等の不透明な事業環境が想定されるため、2024年2月7日に公表した連結業績予想に変更ありません。

なお、連結業績予想に用いた主な為替の換算レートは、147円/米ドル、156円/ユーロ、20円/中国元です。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2024年3月31日)	増減
	百万円	百万円	百万円
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物	291,663	253,537	(38,126)
営業債権及びその他の債権	225,934	226,538	604
棚卸資産	263,815	276,830	13,015
その他の金融資産	6,596	8,864	2,268
未収法人所得税	5,186	6,008	822
その他の流動資産	23,915	31,296	7,381
流動資産合計	817,109	803,073	(14,036)
非流動資産			
有形固定資産	420,563	427,939	7,376
使用権資産	126,252	128,019	1,767
のれん	218,886	224,495	5,609
無形資産	81,758	83,548	1,790
持分法で会計処理されている投資	11,807	11,288	(519)
その他の金融資産	26,881	27,878	997
繰延税金資産	55,519	54,769	(750)
その他の非流動資産	10,971	10,649	(322)
非流動資産合計	952,637	968,585	15,948
資産合計	1,769,746	1,771,658	1,912

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2024年3月31日)	増減
	百万円	百万円	百万円
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務及びその他の債務	235,513	234,879	(634)
社債及び借入金	14,039	27,788	13,749
リース負債	19,020	19,938	918
その他の金融負債	7,445	2,558	(4,887)
未払法人所得税等	15,090	8,315	(6,775)
引当金	14,406	13,477	(929)
契約負債等	45,264	42,351	(2,913)
その他の流動負債	109,157	101,567	(7,590)
流動負債合計	459,934	450,873	(9,061)
非流動負債			
社債及び借入金	124,441	119,578	(4,863)
リース負債	103,572	104,651	1,079
その他の金融負債	6,889	6,654	(235)
退職給付に係る負債	40,451	40,137	(314)
引当金	8,352	8,386	34
繰延税金負債	8,679	9,071	392
その他の非流動負債	5,385	5,470	85
非流動負債合計	297,769	293,947	(3,822)
負債合計	757,703	744,820	(12,883)
資本			
資本金	85,424	85,424	—
資本剰余金	105,780	105,780	—
自己株式	(3,267)	(3,271)	(4)
その他の資本の構成要素	83,919	115,557	31,638
利益剰余金	711,802	693,530	(18,272)
親会社の所有者に帰属する持分合計	983,658	997,020	13,362
非支配持分	28,385	29,818	1,433
資本合計	1,012,043	1,026,838	14,795
負債及び資本合計	1,769,746	1,771,658	1,912

(2) 要約四半期連結損益計算書

	注記	前第1四半期	当第1四半期	増減
		連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	
		百万円	百万円	百万円
売上高	1	347,794	365,797	18,003
売上原価		(232,905)	(228,833)	4,072
売上総利益		114,889	136,964	22,075
販売費及び一般管理費	2	(107,567)	(115,405)	(7,838)
その他の営業収益		3,623	4,533	910
その他の営業費用		(3,658)	(4,108)	(450)
営業利益	1	7,287	21,984	14,697
金融収益		1,183	2,518	1,335
金融費用		(820)	(862)	(42)
持分法による投資利益		789	1,124	335
税引前四半期利益		8,439	24,764	16,325
法人所得税		(3,068)	(7,438)	(4,370)
四半期利益		5,371	17,326	11,955
四半期利益の帰属				
親会社の所有者		4,817	16,470	11,653
非支配持分		554	856	302
四半期利益		5,371	17,326	11,955
1株当たり四半期利益				
基本的1株当たり四半期利益 (円)		10.36	35.43	
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)		10.36	—	

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

	前第1四半期 連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	増減
	百万円	百万円	百万円
四半期利益	5,371	17,326	11,955
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産の純変動	(161)	551	712
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	54	186	132
純損益に振り替えられることのない項目合計	(107)	737	844
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額	9,621	31,663	22,042
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	32	363	331
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	9,653	32,026	22,373
税引後その他の包括利益	9,546	32,763	23,217
四半期包括利益	14,917	50,089	35,172
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者	13,760	48,231	34,471
非支配持分	1,157	1,858	701
四半期包括利益	14,917	50,089	35,172

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジの公正価値 の変動額の有 効部分	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定される金融 資産の純変動
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2023年1月1日残高	85,424	105,880	(3,459)	57	38,322	7	5,456
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	9,049	1	(107)
四半期包括利益	—	—	—	—	9,049	1	(107)
自己株式の処分	—	—	17	(15)	—	—	—
自己株式の取得	—	—	(4)	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	88	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
子会社に対する所有者持分の変動	—	7	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	(18)
所有者との取引等合計	—	95	13	(15)	—	—	(18)
2023年3月31日残高	85,424	105,975	(3,446)	42	47,371	8	5,331

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本 の構成要素		合計	非支配持分	資本合計
	合計	利益剰余金			
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2023年1月1日残高	43,842	740,374	972,061	23,323	995,384
四半期利益	—	4,817	4,817	554	5,371
その他の包括利益	8,943	—	8,943	603	9,546
四半期包括利益	8,943	4,817	13,760	1,157	14,917
自己株式の処分	(15)	0	2	—	2
自己株式の取得	—	—	(4)	—	(4)
株式に基づく報酬取引	—	—	88	—	88
配当金	—	(34,398)	(34,398)	(540)	(34,938)
子会社に対する所有者持分の変動	—	—	7	2,135	2,142
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	(18)	18	—	—	—
所有者との取引等合計	(33)	(34,380)	(34,305)	1,595	(32,710)
2023年3月31日残高	52,752	710,811	951,516	26,075	977,591

当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジの公正価値 の変動額の有 効部分	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定される金融 資産の純変動
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2024年1月1日残高	85,424	105,780	(3,267)	—	77,448	10	6,461
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	31,026	(2)	737
四半期包括利益	—	—	—	—	31,026	(2)	737
自己株式の取得	—	—	(4)	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	(123)
所有者との取引等合計	—	—	(4)	—	—	—	(123)
2024年3月31日残高	85,424	105,780	(3,271)	—	108,474	8	7,075

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本 の構成要素	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	合計				
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年1月1日残高	83,919	711,802	983,658	28,385	1,012,043
四半期利益	—	16,470	16,470	856	17,326
その他の包括利益	31,761	—	31,761	1,002	32,763
四半期包括利益	31,761	16,470	48,231	1,858	50,089
自己株式の取得	—	—	(4)	—	(4)
配当金	—	(34,865)	(34,865)	(425)	(35,290)
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	(123)	123	—	—	—
所有者との取引等合計	(123)	(34,742)	(34,869)	(425)	(35,294)
2024年3月31日残高	115,557	693,530	997,020	29,818	1,026,838

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
	(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	8,439	24,764
減価償却費及び償却費	22,108	22,065
受取利息及び受取配当金	(732)	(1,129)
支払利息	592	631
持分法による投資損益(益)	(789)	(1,124)
有形固定資産及び無形資産除売却損益(益)	865	326
営業債権及びその他の債権の増減額(増加)	25,418	7,725
棚卸資産の増減額(増加)	(7,920)	(5,905)
営業債務及びその他の債務の増減額(減少)	(13,717)	(12,792)
退職給付に係る負債の増減額(減少)	(970)	(842)
引当金の増減額(減少)	(191)	(972)
その他	(27,123)	(25,386)
小計	5,980	7,361
利息の受取額	718	1,099
配当金の受取額	2,117	2,231
利息の支払額	(467)	(506)
法人所得税等の支払額	(11,150)	(13,954)
営業活動によるキャッシュ・フロー	(2,802)	(3,769)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	(220)	(2,381)
定期預金の払戻による収入	569	123
有形固定資産の取得による支出	(12,957)	(10,398)
無形資産の取得による支出	(2,558)	(2,016)
その他	50	1,646
投資活動によるキャッシュ・フロー	(15,116)	(13,026)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(減少)	—	3,176
長期借入による収入	40,000	5,000
長期借入金の返済による支出	(40,005)	(2)
リース負債の返済による支出	(5,321)	(5,275)
支払配当金	(33,681)	(34,208)
非支配持分への支払配当金	(3)	(2)
その他	2,051	(9)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(36,959)	(31,320)
現金及び現金同等物の増減額(減少)	(54,877)	(48,115)
現金及び現金同等物の期首残高	268,248	291,663
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	3,394	9,989
現金及び現金同等物の四半期末残高	216,765	253,537

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

各報告セグメントの主要な製品は、以下のとおりであります。

報告セグメント		主要製品	
コンシューマー プロダクツ事業	ハイジーン&リビングケア事業	ファブリックケア製品	衣料用洗剤、洗濯仕上げ剤
		ホームケア製品	台所用洗剤、住居用洗剤、掃除用紙製品
		サニタリー製品	生理用品、紙おむつ
	ヘルス&ビューティケア事業	スキンケア製品	化粧石けん、洗顔料、全身洗浄料、UVケア製品
		ヘアケア製品	シャンプー、コンディショナー、ヘアスタイリング剤、ヘアカラー、メンズプロダクツ
		パーソナルヘルス製品	入浴剤、歯みがき、歯ブラシ、温熱用品
	ライフケア事業	ライフケア製品	業務用衛生製品
化粧品事業	化粧品	カウンセリング化粧品、セルフ化粧品	
ケミカル事業	油脂製品	オレオケミカル、油脂誘導体、界面活性剤、香料	
	機能材料製品	コンクリート用減水剤、鑄物砂用バインダー、プラスチック用添加剤、各種産業用薬剤	
	情報材料製品	トナー、トナーバインダー、インクジェット用色材、インク、ハードディスク研磨液・洗浄剤、半導体製造用薬剤・材料	

(2) 報告セグメントの売上高及び業績

前第1四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年3月31日）

	報告セグメント							調整額 (注1)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	コンシューマープロダクツ事業					ケミカル 事業	合計		
	ハイジーン& リビングケア 事業	ヘルス& ビューティ ケア事業	ライフケア 事業	化粧品 事業	小計				
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
売上高									
外部売上高	113,746	86,856	12,829	51,840	265,271	82,523	347,794	—	347,794
セグメント間の内部 売上高及び振替高 (注2)	—	—	—	—	—	10,713	10,713	(10,713)	—
売上高合計	113,746	86,856	12,829	51,840	265,271	93,236	358,507	(10,713)	347,794
営業利益（又は損失）	2,698	5,837	(620)	(4,536)	3,379	4,128	7,507	(220)	7,287
金融収益									1,183
金融費用									(820)
持分法による投資利益									789
税引前四半期利益									8,439

(注1) 営業利益（又は損失）の調整額(220)百万円には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等の消去のほか、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(注2) セグメント間の内部売上高及び振替高は、主に市場価格や製造原価に基づいて算出しております。

当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

	報告セグメント							調整額 (注1)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	コンシューマープロダクツ事業					ケミカル 事業	合計		
	ハイジーン& リビングケア 事業	ヘルス& ビューティ ケア事業	ライフケア 事業	化粧品 事業	小計				
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
売上高									
外部売上高	119,363	94,761	12,435	54,643	281,202	84,595	365,797	—	365,797
セグメント間の内部 売上高及び振替高 (注2)	—	—	—	—	—	9,926	9,926	(9,926)	—
売上高合計	119,363	94,761	12,435	54,643	281,202	94,521	375,723	(9,926)	365,797
営業利益 (又は損失)	13,150	6,627	(333)	(4,665)	14,779	8,082	22,861	(877)	21,984
金融収益									2,518
金融費用									(862)
持分法による投資利益									1,124
税引前四半期利益									24,764

(注1) 営業利益 (又は損失) の調整額(877)百万円には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等の消去のほか、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(注2) セグメント間の内部売上高及び振替高は、主に市場価格や製造原価に基づいて算出しております。

2. 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費の内訳は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
	百万円	百万円
広告宣伝費	14,683	16,686
販売促進費	11,248	10,795
従業員給付費用	41,111	43,718
減価償却費	4,261	4,298
償却費	2,370	2,760
研究開発費	15,736	16,199
その他	18,158	20,949
合計	107,567	115,405

(7) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。